

南陽市議会だより

議会だより

2022
4月
vol.168



contents

- 新年度予算……………2～4
- 予算特別委員会…5～9
- 一般質問……………10～13
- 各常任委員会………14～15

ホームページはこちらから

南陽市議会 検索



3月定例会

2/28~3/17

新年度予算159億円を可決 宮内公民館、松沢線冠水対策整備等

選挙1件

松川堰組合議会議員の改選（任期4年）となり、3名の新任を選出。

承認3件

令和3年度一般会計補正予算の専決処分承認。

ふるさと納税寄付金増額、「住民税非課税世帯等臨時特別給付金」「子育て世帯臨時特別給付金」「全市民応援クーポン」の各事業、除排雪経費等、7億2000万円の専決補正を承認。

報告1件

放棄した私債権の報告。
債権放棄条列に基づき、回収不能となった水道料金約18万円の債権放棄。

諮問1件

任期満了につき、人権擁護委員候補者（廣居安子氏、大澤実氏）を法務大臣へ推薦するに当たり意見を求めるもの。

同意2件

任期満了につき信任・再任の同意を求めるもの。

①南陽市農業委員会委員13名の任命

②南陽市太郎財産区管理委員7名の任命

条例・その他8件

各常任委員会付託審議 P14～P15参照

令和3年度 補正予算6件

一般会計及び、国民健康保険、財産区、介護保険、後期高齢者医療の各特別会計、上下水道事業会計の補正を審議。
一般会計補正予算では、蒲生田関口線道路整備等を盛り込み、1億7495万円を補正した。特別会計補正予算は、各項目の年

度末を控えた各事業の精査による額の確定、及び財源の補正。

当初予算8件

一般会計、国民健康保険・財産区・育英事業・介護保険・後期高齢者医療の各特別会計、水道・下水道の各企業会計の当初予算を審議。

一般会計予算は、歳入では、市税はコロナ感染症の回復を見込み9.7%増、地方交付税は前年度実績や地方財政計画を勘案して12・5%増とし、赤字地方債の臨時財政対策債は74・9%の減額とした。ふるさと納税は10億円を見込んだ。

歳出では、高校生の医療費無料化、宮内地区公民館整備、上野新田線通年通行に向けた整備の着手、六角町富貴田線整備等、主な内容を盛り込み、159億3000万円とする大型予算となった。

計30件すべてを、選任、同意、承認、可決した。

一般質問者は7名の議員が2日間にわたり当局の考えを質した。最終日に、条例1件、補正予算1件、発議2件の追加議案が上程され、計4件すべてを、承認、可決し閉会した。

条例1件

南陽市消防団の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正

補正予算1件

消防団関係条例の一部改正に伴い、1470万円の補正を行い、令和4年度の総額を159億4000万円とした。

発議2件

P16～P17参照
①ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議
②高岡亮一議員に対する問責決議

上野新田線道路改築事業

6,600万円

冬季閉鎖している市道上野新田線及び玉坂線の令和6年度からの通年通行を目指し、道路の拡幅工事に着手する。

市道川尻線の冠水対策事業 (松沢線)

8,000万円

軟弱地盤による沈下で道路冠水がたびたび発生するため、約1kmの嵩上げ工事を令和6年までの3ヵ年で計画的に実施する。



松沢線 冠水状況

子宮頸がんワクチン接種事業

1,800万円

平成25年からのワクチン接種の積極的な勧奨の差し控えにより、接種機会を逸した世代(平成9~17年度生まれの女性)に対し、公平な接種機会を確保する観点から時限的に従来の定期接種の対象年齢を超えて接種を行なう。



令和4年3月定例会

一般会計予算の 主なもの

小・中学校学習支援員の増員

3,783万円

特別な支援を必要とする児童生徒に対し、学習・生活両面で自立した学校生活ができるよう、より一人ひとりに応じた支援・補助を行なうため、5名増員し、小学校10名、中学校6名体制とし充実を図る。

荒廃森林地の里山整備

160万円

住居エリアや農地などに接する荒廃した森林を「人と動物との共存林」と位置づけ、農作物被害等を引き起こす野生動物と人との棲み分けを図る緩衝地帯(バッファゾーン)の整備を宮内地区、金山地区で行なう。

ワトワセンターテニスコート等修繕

2,901万円

既存テニスコート2面の人工芝全面張替えと、テニスコート、駐車場の屋外照明をLED化する。



居住誘導促進事業

1,050万円

市内の赤湯、宮内、沖郷、漆山の各地に定める居住誘導区域に優良な住宅地を確保し、コンパクトな市街地の形成と、災害に強いまちづくりを促進するため、民間事業者が一定規模の宅地分譲を実施する場合、1区画あたり20万円を補助（上限500万円）し、更に地域防災力の充実、消防防災減災対策の機能強化を図るため防火貯水槽設置にも1基あたり、250万円を支援する。



高校生までの医療費無料化拡大

1,800万円

子育て世代の経済的負担を軽減するため、医療費の無料化を従来の15歳までの中学生から高校生等の18歳（18歳年齢到達後の最初の3月31日まで）までに、子育て支援医療給付の対象年齢を拡大するもの。

宮内公民館整備事業

2億670万円

宮内公民館建て替えのため、蔵楽敷地を拡張し同施設を建設するもの。本年度は実施設計等委託料及び拡張用地取得費を計上。令和6年度中の完成を目指す。



市道六角町富貴田線整備事業

5,000万円

南陽市立地適正化計画に基づき、持続可能で強靱な都市構造への再編を図るため、幹線道路の未整備区間であった南陽高校前の市道六角町富貴田線を、令和4年度から8年度までの5カ年計画で、西側を通る主要地方道米沢南陽白鷹線につなげるための事業。



六角町富貴田線（南陽高校前）

DX推進事業

1,318万円

マイナンバーカードをお持ちの方は、市への申請、届出等はオンラインで可能。

国で提供している「ぴったりサービス」を使って、市民が行政手続きを行なった場合に、そのデータを市の情報システムの中に取り込み、情報処理できるように改修する。

漆山小学校施設整備

3,334万円

①学校プール改修工事（359万円）

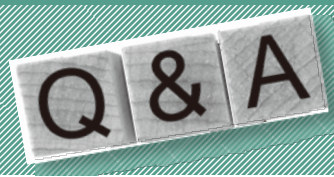
大プールの破損した防水層を撤去し、塗膜防水で改修を行なう。

②第2期法面崩壊防止工事（2,975万円）

第一期工事に隣接する西側をユニットネット工法による工事を行なう。



予算



歳入

税収の見通し

Q ロシアのウクライナ侵攻により、今後の景気見通しが不透明だが、税収への影響は。

A 今後の戦況によって法人・個人ともに影響は異なる。現在、予算編成時は現在の状況は予見できなかった。



た。今後注視していく。

Q 3カ年計画では4年度から若干の市税増。地方交付税は減少を見込んでいるが、今後の展望は。

A 3カ年計画作成時ロシアの侵攻前だった。今後予想される状況を踏まえ対応する。

歳出

非核平和のタベ

Q どのような方々が推進会議に参加し、いつ頃開催の予定なのか。また、中学生の観劇を予定しているならそれに資するものにすべきだ。

A 実行委員会形式で8月末の開催を予定している。

施政方針

Q 「南陽を世界ブランド」について、どの

ように予算に反映されているか。

A 「(株)四季南陽」との基本協定をふまえ、南陽市として全面的に応援し、オープン、運営できるようにと全庁に指示している。

Q 非常に意義ある言葉だと思つたので、常に意識して様々な場で反映してほしい。



灯油の助成

Q 社会情勢により原油価格が高騰しており、冬を待たず困窮する世帯が出る可能性がある。

A 今回の予算では県との共同事業で冬場の助成を想定している。

社会情勢の悪化による灯油価格の上昇対策は国の対応が必要なため、要望を行なっていく。

発達支援の充実

Q 福祉と障がい者支援の狭間で発達障がい者への支援が届きにくい状況が続いている。

平成27年の調査では全体の6.5%が発達障がい者と言われ、支援内容は多岐にわたる。

今後この連携をどう築いていくのか。

A 本市では、就学前から関係各課と連携し切れ目のない支援に取組

んでいる。今後も専門機関と連携を強化したり学習支援員を増加したりして適切に対応する。

社会福祉協議会

Q 協議会は老人福祉の一丁目一番地だが、今後職務が先細りとなる。

適切な補助がないと将来に不安を持つ職員の離職が進み事業継続に支障をきたすのでは。

A 介護事業は収益事業のため市で補填はできない。

高齢者が減少していく社会情勢の中で、事業継続を念頭に介護事業にこだわらない経営戦略を進める必要がある。持続可能な事業を職員と検討している。



置賜総合病院負担金

Q 置総は国のコロナ補助金で単年黒字だが、サテライトの南陽病院は赤字経営が続いている。

置総の黒字で南陽病院を補填するような柔軟な対応はできないか。今後赤字転落の場合負担割合はどうか。

A 置総は県との共同事業で、黒字分は内部留保と決められており補填はできない仕組みだ。

負担については県と2市2町の負担割合の変更を要望している。

11歳以下のワクチン接種

Q 5歳以上11歳以下のワクチン接種が始まっているが、接種後学校を欠席した児童数は。その数を、市のHP等で保護者に周知することはできないか。

③ 3月2日から3月8日まで60名接種した児童のうち8名が欠席。

接種会場を出てからの重篤な副反応の場合

は、医師の判断で厚労省に報告。それに基づいて国が一元管理している

市としては、欠席の原因がただちにワクチン接種とは判断できない。



環境対策協議会

④ 地球温暖化対策実行計画は規模が大きくなるため幅広い有識者の集結が必要だ。

今回策定業務委託料

も計上されているが、期限は設定しているのか。

⑤ 現在の協議会メンバー

で充分議論が可能で、4年度中に策定する。

がん検診

⑥ コロナ禍で検診率が下がっているが、検診率が上がれば早期発見で治療率が向上する。

⑦ 現状、検診率の大規模低下は見られないが、国保の方は元来検診の必要性が正しく認識されていない

ため、地道に啓蒙し検診率向上を進める工夫をしていく。

御坂下トイレ改修

⑧ 市民の問い合わせに建替えではなく改修と回答されているが、予算化されていない。

⑨ 誤解を与えてしまったが、現状維持の修繕はするという意味だ。

農道除雪と

転作関係交付金

⑩ 例年にない大雪で農

作業の遅れが危惧されている。

また今後米作りに関する交付金の実質的な大幅カットで、農家の収益減となり耕作放棄地の増加が危惧される。

⑪ 農繁期に向け、現在農道の除雪作業を急ピッチで行なっており、県と融雪剤の購入補助も進めている。

転作交付金に関しては関係団体の要望を受け市長・議長連名で国に働きかけている。

⑫ 今後は効果的な要望活動の展開のために代議士とも連携していく。



獣害防止

⑬ 予算は増額だが、全体として不足している。現状の捕獲数と猟銃免許取得補助件数は。

また、里山緩衝地帯の想定地区は。

⑭ 昨年は地域おこし協力隊予算も合算していたが今年度は単独予算で実質増額だ。

⑮ 今後、電気柵設置等で予算不足になれば補正予算で適切に対応する。

⑯ 本年度の捕獲はイノシシ191頭クマ8頭で、猟銃免許は更新を含め21名に補助を行なった。

⑰ 緩衝地帯は金山・宮内地区を想定している。

ワイン振興

⑱ ワインの醸造所の6件集積は本市の大きな財産だ。今後イベントなどの振興策を充実させる必要がある。

また、地域おこし協力隊の住環境改善も必要と考えるが、本年度ワイン関連での協力隊は何名の予定か。

⑲ 東北最大のワイン産業集積地である地の利を活かし、今後「(株)四季南陽」や近隣自治体との連携も模索していく。

⑳ 協力隊はブドウ栽培1名とワイン醸造1名を予定しており、住環境については常識的な範囲に配慮し補助を行う。



赤湯駅の活用

㉑ 空きスペースを6次産業化や農家カフェなど、市内の農産物を活かす形で活用できないか。

㉒ 現在庁舎内で検討を

進めており、良い形で活用を進めたい。



給食への米の活用

㉓ 小麦の価格高騰も予想される中、米食をもっと給食に活用すべき。

㉔ 米飯給食は現在週4日実施。給食は県の統一した規格があるため、その範囲の中で運用する。



農地利用効率化支援

◎4年度の稲作減反率は44・3%とされ、経営努力では継続不可能な要請となっている。転作等への取組み支援予定は。

▲水田活用交付金制度の大幅な見直しで対応に苦慮している。個別案件ごとに対応し、所得の維持、向上支援に努める。

農山村発イノベーション等整備事業

◎農水省による金山地区の「農山村発イノベーション等整備事業」2年度までのゴールドマウンテンプロジェクト2600万円に引き続き、今回の4000万円。

さらに昨年夏、七嵯古山の麓に新しい社社が創建された。

小滝街道を抜けて眼前に置賜平野が開ける

金山地区は、白竜湖を望む鳥上坂にも匹敵する勝景の地。この機会に、古来「神山郷」とも言われてきたこの土地をどう盛り立てていくか。

▲農家カフェ事業のための地域おこし協力隊の採用等で協力体制をつくっている。

実施主体の熱意が何より大事だ。実現に向けて最大の努力をする。



産業団地整備

◎①スマートインターチェンジの必要性の根拠になっている中川地区産業団地の候補地選定の現状は。

②いつまでに、どの程度の広さで整備して、どんな産業の誘致を計画しているのか。

③天童市、米沢市の産業団地に複数の立地企業報道が相次いでいる中、新たな産業団地の調査を始めようとしている。

企業誘致は具体的な団地の提示ができれば進まない。他自治体に遅れを取ることもなく、スピーディに産業団地整備を進める必要があるのではないか。

▲①様々な要因で遅れているが、総合的に候補地を検討している段階だ。

②仮に4年中に選定しても、手続き等考えると造成は6年からの開始だ。広さは10ha程度で、1か所ではなく複数か所になる場合もある。企業の誘致は、様々な産業を対象に検討していく。

③早くという思いで取り組んでいるが、軟弱地盤等の課題もある。来てくれる企業に未永く立地頂ける準備もすっかり行ない、できるだけ早く進める。



無利子無担保融資

◎①緊急経済対策として、多くの事業者を救った無利子無担保融資（ゼロゼロ融資）の返済時期を迎え、いまだ回復が見通せない中、返済に窮する事業者が予想されるが、市としての対応は。

②コロナ後は、コロナ前とは全く違う世の中になりそうで、新たなやり方を考えていかねばならないが、目の前の切羽詰まった問題の解決と同時に、今後の生活までを含めた相談態勢が必要だ。

▲①商工会、事業者から再度のゼロゼロ融資実施が求められているが、前回分までの市の利子及び保証料補給が12年度まで毎年数千万円に及ぶため、市単独又は県と協調した実施

は困難だ。なお、経済対策については、国、県に強く要望しつつ、できる限りの支援を考えていきたい。

②商工観光課では、ワンストップ相談窓口を設けており、商工会とも連携し、明るい方向性を見出す気持ちで取り組んでいる。



地酒・ワインのPPR

◎いろんな事業とのコラボにより相乗効果が期待できる。

①企業版ふるさと納税の資金を活用し、寄付者の意向も加味して検討を進めている。

コロナ禍で集客事業は困難だがメディア戦略も含め、あらゆる事業とのコラボで相乗効果を狙い、目指す「南陽を世界ブランドに」に向け積極的な展開を行なう。



農観光事業費

◎市内経営者の若返りや当局の努力で活性化

がみられる。桜・バラ・菊・ワインなどの各種催事に日曜朝市や商工会の一店逸品に取り組んでいただいている方々等とのコラボは。

①商工会の努力があり心強い。観光協会・旅館組合・青年会議所・高校生を含む若者とも取組みを強化する。



烏帽子山公園の桜

◎近年ウン鳥の被害が少なく、桜は勢い良く感じるが、先日、ウン鳥の花芽の被害が多いとの新聞報道があった。

①近年、鷹匠を招聘したパトロールや、ドローンによる追い払い、録音した猛禽類の鳴き声での威嚇などの効果でウン

鳥の被害は減少傾向だ。むしろ例年より被害が少ないと認識しており、今年も見事な桜が見られると期待している。



松沢地区に通じる道路改修

◎最近は多少の雨でも

冠水する道路で、赤湯地区から長く要望のあった事業だ。

市民の安全確保のため一日でも早い完了が望まれるが、どのような工事となるのか。

①市道川尻線は弁天橋付近で大きく沈下しており、前後450mの区間に渡り碎石を入れ盛土をし、かさ上げを行う。

今後3カ年で工事を完了させる見通しだ。



松沢地区に通じる道路改修

◎ここは、以前小学生が亡くなる傷ましい事

故が起きた区間だ。

今後の安全確保のため歩道整備も併せてできないか。

①現在はスクールバスが運行しており危険性は減ったと認識しているが、今後の設計の中でどのようなことが出来るか検討したい。

スマートインター

チェンジ設置検討業務

◎検討業務の内容と状況は。

①国、県、関係団体、市で勉強会を開催し、一定程度問題点と課題を整理している。産業団地整備と企業誘致が問題だ。

規模、位置、アクセス道路などが決定すれば、新規準備段階調査への採択に進む。

公園等整備

◎烏帽子山公園の駐車

場にあるトイレの洋式化は。

また、見晴台付近の雑木の撤去、整備はどのようになっているか。

①男性用1カ所、女性用2カ所を洋式に改装予定。見晴台眺望エリアの雑木については、用地調査が必要なので予算化して調査を進める。

市道上野新田線

◎通年通行を考えると融雪だけでは厳しいのでは。

①堆雪幅を広げて、融雪装置と除雪体制の強化を行ない、安全通行出来るように進めていく。



大野平キャンプ場 大型標識消去

◎大野平キャンプ場は今後も閉鎖するのか。

▲現在、キャンプ場は休止しているため、国道399号にある看板にマスクングを行なう。



埋蔵文化財 分布調査

◎長岡南森遺跡の調査状況は。

▲南森遺跡は、2018年度から調査をして

いるが、古墳であるという決め手の遺物が出土していないため、引き続き調査を進めていく。

◎交流先、規模などは今までと同じなのか。

▲二年間実施出来ていない状況。コロナの感染状況を見ながら、交流先、規模など決めていく。



中学生地域間 交流セミナー

◎JA支店や金融機関の店舗統廃合、さらにATM撤去が予定され、各地区の金融取扱いに支障が生じている。沖郷公民館や新築される宮内公民館に全金融機関が取り扱えるATMの設置が要望されているが。

▲公民館・地区事業でも利便性が低下している。会計課等と協議する。

れて検討していく。



ATMの設置

◎湯こつとの職員は6名と聞いているが、準備は。また、キャッチフレーズや職員のユニホームなどは考えているのか。

▲4名は、現在あずま湯ととわの湯で委託している4名、残り2名はハローワークで募集をしている。応募も複数来ていると聞いているので、6名態勢でオープン出来そうな状況。

また、キャッチフレーズは、デザイン監修の委託先と相談しながら進めていく。ユニホームは、清潔感があつて、わかりやすいものを検討していく。



財産区特別会計

◎水窪ダムと綱木川ダムの受水量の割合は。特に水窪ダムでは水位低下が心配。

▲受水量の割合は水窪ダム4割、綱木川ダムが6割。水位の低下については、注視しながら管理体制の強化をお願いしていく。

水道事業会計

予算案に対する議員の最終賛否表

議席番号 氏名	○ = 賛成 × = 反対 議長は裁決に加わらない																
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
伊藤英司	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	議長	○	○	○
佐藤憲一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山口裕昭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
島津善衛門	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高岡亮一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高橋一郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
船山利美	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山口正雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
片平志朗	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
梅川信治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
川合猛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高橋弘	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
板垣致江子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高橋篤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
遠藤榮吉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
佐藤明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
殿岡和郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

鋭く迫る！一般質問

一般質問とは

議員が、市政全般にわたり考え方や方針を市当局に質問することです。
 一人50分の持ち時間で「壇上質問 → 市長・教育長等の答弁 → 再質問」を行います。
 3月定例会では、3月7日と8日に7名の議員が質問を行いました。
 ※質問の内容を要約して掲載しています。
 ※議会ホームページで録画映像を配信しておりますのでご覧ください。
 会議録は、6月に公開予定です。



- 1 山口 裕昭 (無会派) 人口減少に対する対応 / 子どもの貧困と相対的貧困率
- 2 島津善衛門 (保友クラブ) 屋内遊技場・屋内多目的運動場・公認陸上競技場の施設整備 / 行政の働き方改革とIT化
- 3 片平 志朗 (政風会) 食品ロス削減の推進 / 小学校の教科担任の在り方
- 4 高橋 一郎 (無会派) スポーツ王国NANYOをめざした施策
- 5 佐藤 明 (無会派) オミクロン株拡大対策と生活と経済を守る対策
- 6 板垣致江子 (無会派) HPVワクチン(子宮頸がんワクチン)の積極的勧奨 / 消防団員の報酬引き上げ
- 7 高岡 亮一 (無会派) 「コロナ禍」をどう見る / ワクチン接種 () は3月定例会時の会派



山口 裕昭 議員

人口減少と相対的貧困への対応

人口減少への対応

◎今までの対応とその評価は。

＜市長＞結婚新生活支援事業による結婚希望者へのサポートや、幼保連携型こども園の建設支援による子育て支援、創業者支援による雇用創出を図っている。

その評価として、4件の新規結婚生活の支援を行い、0～2歳児の受入れ枠が30人増加。創業者支援では4件の創業に補助を行った。社会的に人口減少抑制が厳しい状況だが、人口目標達成に向け今後、も施策を進める。

◎コロナ禍での首都圏からの転入に変化は。また移住促進への施策は。

＜市長＞若干、転入の増加傾向がみられ、県と協調した支援の活用や、移住相談の充実で関係人口の増を図る。

子どもの貧困と相対的貧困

◎市内の状況把握は。

＜市長＞調査手法が国とは異なり単純比較できないが、本件の子どもの貧困率は16・0%と算定されている。

◎コロナ禍では、宿泊業や飲食業など女性の就業率が高い職種ほど影響が大きい。

＜市長＞県内市町の、まん防適用で、飲食業で客足が激減している。飲食業は雇用調整助成金の活用が限定的で、就業者の窮状に繋がっ

ている。

家計急変世帯への国の支援も行われているが、申請が見込みより少ないため周知を進める。事業者向けには国の事業復活支援金があるが、本市では、追加支援として飲食業等緊急経営支援給付金を実施した。今後も、適切な支援策実施に向け、臨時交付金の追加配分を国に強く要望していく。





島津 善衛門 議員

市民が主役の取組みを

市民要望が高い施設整備の取組み

①子育て世代に大人気の屋内遊技場の

②「すべての人に健康と福祉を」

屋内多目的運動場

③公認陸上競技場

(400mトラック)

〈市長〉私の市政運営の柱は、持続可能で安定的な財政基盤が必要であること、近隣市町において同類の施設整備がなされている場合には、広域利用をお願いしている。

①屋内遊戯場

現在、本市では屋外施設として周辺にはない大規模施設の中央花園「ドリームランド」があり、市内外の

子育て世代に大人気の場所となっている。屋内施設は、高島町・米

沢市・山市・山形市

北部に整備されており、更に、長井市・山形市

南部に今後新設されるので広域利用をお願い

する。

②屋内多目的運動場

本市においては、近隣にない広さと設備を

備えた市民体育館があり、大変好評を得ている。

維持管理にも相当の予算を毎年投じている

ので、提案の施設を含め、総合的な運動施設の在り方を今後、研究

する。

③公認陸上競技場

置賜地域には、米沢市・長井市・高島町に設置されている。建設

に際しては、敷地面積が単体でも15から20haが求められ、更に公認グレードや駐車場の確保で上積みが必要と

の専門家見解がある。以上の状況から、本

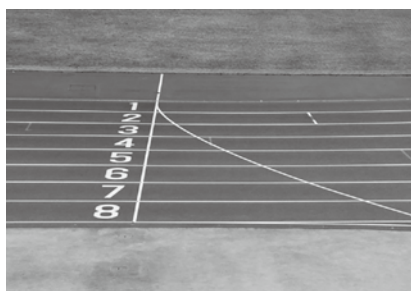
市単独による建設は相

当な財政負担はもとよ

り、少子化に伴っての施設の有効利用も今後

の大きな課題であり、現在は広域的な施設利用を第一の選択肢と考

えている。



片平 志朗 議員

「食品ロスの削減を目指せ

◎消費者庁の調査によ

ると、日本では年間2

550万トンの食品廃棄

物が出されており、そ

の内「食品ロス」は612

万トに上ると試算され

ている。世界で飢餓に

苦しむ人への食品援助

量の15倍に相当する。

この現状をふまえて、

国では2019年10月

に「食品ロスの削減の

推進に関する法律」を

と一日当たり3.9ト、年間で約1420トの食品ロスが発生していると試算される。

◎食品ロス削減に取り組んでいる事は。

〈市長〉会食時における3010(さんまるい

ちまる)運動や国、県が推進している年末の食べ切りキャンペーンの広報、また市報への二度の関連記事を掲載して削減に努めている。

◎SDGsやゼロカー

ボンシティ宣言をして

いる本市の今後の取組

みは。

〈市長〉第6次総合計画に掲げた各種施策は、SDGsターゲットを

見据えたものになっており、これらの施策に

解決していくことが食品ロスの削減やゴミ減量に繋がると考える。

◎「食品ロス削減計画」の策定の意向は。

〈市長〉独立した計画として策定する予定はないが、食品ロス削減は

ゴミ減量に直結することから、本市のゴミ処理基本計画の令和4年度の見直しに合わせて

映させていきたいと考えている。



※食品ロス まだ食べられるのに廃棄される食品。大きく事業系と家庭系に分かれる。



高橋 一郎 議員

スポーツ王国NANYOを！

ドーム建設

◎雪国での冬期間の練習を安全に行うためにも、陸上競技場を兼ねたドーム建設が必要だ。本市の地の利を活かして置賜全域及び県南地域の核として建設の考えは。

〈市長〉秋田県の「大館樹海ドーム」相当規模であれば総事業費76・5億円と聞いている。整備後は相当の管理運営費が必要。非常に課題が多く、具体化する状況にはない。
◎私は7年前から県事業の誘致と言っている。民間活力、クラウドファンディングも含めて実現してほしい。土地の購入が前提。県や他

市町との協議で市長のリーダーシップを発揮していただきたい。

花公園スポーツエリアのグランドデザインと整備計画

◎スケートボード、ボルドリングなどの競技人口が増えている。これらを含めたグランドデザイン構想はあるか。

〈市長〉体育協会との懇談でグランドデザインの構想はお聞きました。実現には広大な用地の取得と維持管理費用を始めとする安定財源の確保、河川協議等課題が多いと認識している。

既存設備のグレードアップ等

①多目的広場の照明



現状は暗いうえ雨天時は使用できない。軽油燃焼の排ガスを直接吸い込むなど体に悪い。
〈市長〉現時点では、現状のままご利用いただきたい。

②市民体育館アリーナの壁面を専用壁化する改装計画は。

〈市長〉全面改修は難しい。防球ネット対応が最も手軽な方法。
◎カーテン式の防球ネットを要望する。



佐藤 明 議員

ワクチン接種と経済対策に本腰を

◎3回目ワクチン接種率は（2月22日現在）15・3%で先進国としては最下位となっている。感染急拡大を受け、2回目接種との間隔を短縮する方針に転じたが、政府が医学的根拠もなく間隔を原則8ヶ月以上とし、それを1月7日まで続けたことが響いている。

政府は、ワクチン接種を加速するために、自治体を最大限支援すべきだ。

特に、小児ワクチン接種の状況、計画は。

〈市長〉個別と集団での接種を実施しており、個別接種は、市内2ヶ所の小児科医院で行なっている。

接種日を12歳以上と区別し、3月2日から5歳～11歳までの接種のみを行なっている。集団接種は、3月20日から開始する。

◎経済への打撃も深刻化している。飲食店をはじめ様々な業種で業績不振が長期化し、コロナ関連の経営破綻は全国累計で2800件を超え、倒産、休廃業が増えると予想されている。

新たな感染の波から国民のいのちと生活、中小企業の経営を守るものが政府と行政の責務。経済支援対策の見解は。

〈市長〉国、県がしっかりと主導し、必要とされる事業者が必要とさ

れる支援を実施することが重要だ。市も、国の支援策の状況を踏まえ、適切に支援策を実施する。

◎今、支援しなければ、後はない。今後、市独自の支援策の考えは。

〈市長〉事業者全般への支援は国が行い、市はそれぞれの状況に応じて細かな支援を行なう必要があるべき姿。今後市内の実情に目を向け、耳を傾け、独自の支援を行なう。





板垣 致江子 議員

消防団員報酬の引き上げを

HPVワクチン(子宮頸がんワクチン)の積極的勧奨

◎子宮頸がんワクチン

は2013年4月に小6から高1の女子を対象に公費での「定期接種」が開始されたが、接種後に全身の痛みやしびれを訴える人が相次ぎ同年6月積極的勧奨が中止された。昨年11月積極的勧奨の再開が決まり厚生労働省から通知された。副反応の対策などで「なぜ今再開なのか」と疑問を指摘する専門家もいる。今後の「定期接種」への取り組み方は。

〈市長〉接種対象者にワクチンの有効性やリスクに関する情報提供を

適切に行い、希望する人が円滑に受けられるよう地域の医療機関から協力をいただく。接種券は発行しない。

キャッチアップ接種(積極的勧奨の中止により接種機会を逃した方への対応)も定期接種に準じて行う。

◎リスクの情報はもちろん、ワクチンを打つても20歳を過ぎたら検診を受ける必要性を理解してもらう事が大事。

消防団員処遇改善

◎消防庁は22年4月から、年額報酬を3万6500円、災害時の出勤手当を1日8000円とするよう通知した。

〈市長〉この度、国より

報酬等の処遇改善等に

関する基準や地方財政措置の見直しの内容が明らかになった。団員が活動しやすい環境のため見直す。条例の改正も必要。

◎報酬の支払先や災害時の出勤手当は。

〈市長〉現在、分団に支払っているが、団員個人への支払を検討。

出勤手当は1日7時間以上であれば8000円支給する方向。



高岡 亮一 議員

コロナ禍をめぐって

◎SDGs(持続可能な開発目標)の源流で

あるローマクラブ「成長の限界」以来の「人口削減計画」の一環としてワクチン接種が行われているとして、どう受け止めればいいのか。

〈市長〉仮定の話には答えられないが、個人としては、増えすぎた地球上の特定の生物について、自然の意志としてはあるかもしれないとは感じるところもある。

◎厚労省人口動態速報値によると、令和3年の死亡者数が、前年に比べ6万7445人多い。ワクチン接種の影響との説もあるが。

〈市長〉南陽市の場合は

459人で前年比5人増にとどまり必ずしも整合性はない。また、大阪府のようなコロナ感染が拡大した地域に、超過死亡数増が見られる。

あるいは、ワクチン接種効果発現以前の超過死亡とも考えられる。

◎世界の感染対策状況を見ると、多くが規制緩和の方向で、日本だけが厳しいままが続いている。とりわけマスクについてどう思うか。

〈市長〉ほとんどの人がマスクをつけているのは異状。ただ、日本人の公衆衛生観念の高さともいえ、その結果死亡者数、感染者数の増加を防いでいる。

〈教育長〉特に小さい子どもにとって、表情が

読み取れないというのは大きな問題。ただ、命を守ることとどちらが大事となると、命を守る事が大事と認識している。

◎マスクをつけることが、感染予防以上に「従順さ」の指標のようになってきている。あたりまえに考えれば負けるのがわかってきた競争に精神力で立ち向かった80年前を思わせる。異状を異状と思わなくなることが怖い。

〈市長〉ほとんどの人がマスクをつけているのは異状。ただ、日本人の公衆衛生観念の高さともいえ、その結果死亡者数、感染者数の増加を防いでいる。

〈教育長〉特に小さい子どもにとって、表情が



総務 常任委員会

国保税 未就学児 5割減額 消防団 報酬等改正

審査報告

3月2日

付託議案5件

◆行政不服審査会に関する事務の委託

同審査会への諮問案件が少なく（過去5年間で2件）、当該事務の専門的知識、経験の蓄積が困難であり、合理化・専門性の確保を図るため、事務を山形県に委託するもの。

◆行政不服審査法施行条例の廃止

行政不服審査会の事務の委託に伴い、関係条例の廃止及び一部を改正するもの。

◆市職員の育児休業等に関する条例の一部改正

非常勤職員の育児休業の取得要件の緩和等を行なうため、所要の改正を行なうもの。



未就学児区分	改正前	改正後
7割軽減世帯	10,440円	5,220円
5割軽減世帯	17,400円	8,700円
2割軽減世帯	27,840円	13,920円
軽減なし世帯	34,800円	17,400円

◆国民健康保険税条例の一部改正

納税義務者の世帯に属する未就学児に係る被保険者均等割額（低所得世帯にあつては7割、5割、2割の軽減措置後の被保険者均等割額）を5割減額するもの。

◆新公衆浴場「赤湯温泉湯こっこ」の指定管理者指定

同施設の指定管理者を指定するもので、温泉供給の専門性と、これまでの公衆浴場運営の実績から公募によらない選定とした。

指定管理者となる団体

南陽市赤湯財産区

指定の期間（3年間）

令和4年4月1日から令和7年3月31日まで

委員より、未就学児の国保税早期無料化や、「湯こっこ」の職員数、管理体制について質疑がなされた。

審査の結果、全員異議なく可決した。

3月17日

追加付託議案1件

◆消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正

令和4年1月、総務省消防庁は、近年の全国各地で被害が多発化・激甚化している現状への対応として、地域防災力の中核である消防団の充実強化について、全国の都道府県に積極的な取り組みと助言を推進し、予算措置を講じている。

こうした状況を踏まえ、本市においても、消防団の団員数及び報酬等の見直しに伴い、定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正するもの。

条例定数 891人から814人に
団員報酬（下段表）
審査の結果、全員異議なく可決した。

（委員長 島津善衛門）

職務区分	報酬日額
従事時間4H以内	2,000円
従事時間4H超7H以内	4,000円
従事時間7H超	8,000円
訓練（市長が認める場合）	2,000円

団員年額	現 行	改正後
団 長	123,000円	125,000円
分団長	48,000円	51,000円
部 長	33,000円	38,000円
団 員	16,500円	36,500円

いじめ問題専門委員会等に 臨時委員を設置

文教厚生 常任委員会

3月3日

審査報告

付託議案2件

◆いじめ防止対策の推進に関する条例の一部改正

いじめ問題専門委員会及びいじめ重大事態再調査委員会に、特別の事項について調査審議の必要があるときは臨時委員を置くことができるようにすると共に、利害関係者及び中立性を損なうおそれの

ある委員を調査審議に加えないことができるようにする。

◆置賜広域行政事務組合規約の一部変更

し尿受け入れ施設の整備は、令和4年度から実施設計、工事予定のため、3月末に県知事許可を受ける必要から今議会付託となった。

審査の結果、全員異議なく可決した。

(委員長 殿岡和郎)

《置賜広域行政事務組合規約の一部変更内容》

(組合の共同処理する事務)

第3条 組合は、次表右欄に掲げる市・町に係る同表左欄の事務を共同処理する。

変更前

共同処理する事務	市・町
し尿、ごみ共同処理施設の設置及び管理運営に関する事務	関係市町
	一略
し尿の収集、運搬に関する事務	南陽市 高島町 川西町

変更後

共同処理する事務	市・町
し尿受入施設の設置及び管理運営に関する事務	米沢市 南陽市 高島町 川西町
	長井市 白鷹町 飯豊町 小国町
汚泥再生処理施設の設置及び管理運営に関する事務	関係市町
	一略
ごみ処理施設の設置及び管理運営に関する事務	関係市町
	一略
し尿収集手数料の徴収に関する事務	南陽市 高島町 川西町



ビジネスホテル誘致 奨励措置の見直し

産業建設 常任委員会

3月4日

審査報告

付託議案1件

◆南陽市ビジネスホテル誘致条例の一部改正

本案はビジネスホテル誘致に係る奨励措置の内容を見直すため、所要の改正を行なうもの。平成31年から施行のこの誘致条例をもとに、誘致活動及び関係事業者と打ち合わせを重ねてきたが、まだ目標達成には至っていないため奨励措置を見直すもの。

委員からはコロナ禍でもあるので延長は5年ではなく、もつと延長するべき、また、土地を無償提供するくらいの奨励措置でないと誘致実現は難しいのではないか、などの意見が出され



た。当局からはコロナ禍で誘致活動が思うように進んでいない状況であるが、まずは延長する5年間で、引き続き誘致活動を行なっていく。また、土地については候補地となりそうなところを調整中である、との説明があった。

審査の結果、全員異議なく可決した。

(委員長 片平志朗)

ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議

2月24日、ロシアは、世界中の平和を望む切なる願いに反し、ウクライナへの侵略を開始した。さらに、核の力を背景に国際社会の安定を一層脅かしている。

ロシア軍の攻撃は民間施設にまで及び、幼い命が失われるなど罪のない民間人にも被害が広がっている。

このようなウクライナの主権と領土を侵害する行為は、明らかに国際法、国連憲章に違反している。

また、今般のロシアの行動は、欧州にとどまらず、海を挟んで対面する日本はもとより、アジアを含む国際社会の秩序の根幹を揺るがしかねないもので、断じて看過できない。

よって、本市議会は、ロシア軍によるウクライナへの侵略に対し断固抗議するとともに、即時無条件でのロシア軍の完全撤退を強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月17日

南陽市議会	提出者	山口正雄	賛成者	伊藤英司	賛成者	船山利美
	賛成者	遠藤榮吉	賛成者	佐藤憲一	賛成者	梅川信治
	賛成者	片平志朗	賛成者	山口裕昭	賛成者	川合猛
	賛成者	高橋弘	賛成者	島津善衛門	賛成者	板垣致江子
	賛成者	殿岡和郎	賛成者	高橋一郎	賛成者	佐藤明

反対者 高岡亮一

※ 議長は裁決に加わらない



高岡亮一議員に対する問責決議

我々南陽市議会議員は、市民から負託を受けた者として、その立場と職責の重さを深く自覚し、法令等を遵守し、高い倫理観をもって市政の発展と市民福祉の向上に努めなければならない。

しかしながら、高岡亮一議員については、令和3年度南陽市コロナ対応商店街販売促進緊急支援事業の補助金を活用して令和4年1月3日に新聞折り込みされた地元商店街のチラシの中に、「よく考えて！！子どもへのワクチン接種」のコメントとともに、自身が作成したブログの「オミクロンは風邪以下」、「ワクチンは百害あって一利なし」、「子どもにワクチン接種は不要」と題したページに誘導するQRコードを掲載して自身の主義、主張を拡散した。

チラシの新聞折り込みは令和3年12月10日及び令和4年1月3日の2回にわたり行われたものであるが、当該部分については1回目の内容から変更され2回目のチラシに掲載されたものである。チラシは高岡亮一議員本人が地元商店街の事務局として作成を担当し、市への届け出なども本人が行ったものであるが、その際、市担当者及び地元商店街代表者に対して、こうした内容を挿入することの具体的な提示などはなされなかったとのことである。

こうした結果、2回目のチラシの経費については、補助の趣旨に反し、不適切との判断から補助対象外となり、地元商店街で負担することになった。

議員は、様々な主義、主張を持つ市民の代表であり、当然に言論の自由は認められるものである。しかしながら、本補助事業については、コロナ禍の緊急対策として、コロナ感染拡大防止に努めながら、各商店街等が行う個人消費を喚起させる意欲的な取組を支援するとともに新しい生活様式を踏まえ、各種ガイドラインを遵守し、感染拡大の防止に取り組んでいることを合わせて広報し、安全安心な商店街をPRすることが事業の趣旨であるにもかかわらず、補助事業という公金を活用して自身の主義、主張を拡散しようとしたこの行為は、多くの市民の信頼を著しく失墜させるものであり、断じて許されるものではない。

さらに、高岡亮一議員については、令和2年6月定例会一般質問での事実誤認に基づく発言により議事録を訂正、令和3年3月定例会予算特別委員会における利益誘導とも受け取られかねない発言、同3月には日本赤十字社への議会と関係のない照会に常任委員会副委員長の役職を使用、しかもあろうことか自身の所属委員会を誤って記載して照会したこと、同4月には本会議の議題にかかわる内部資料を会議前に自身のブログに具体的に掲載するなどし、本市議会としてもこれまで再三にわたり本人に注意し、議員自らの意志と責任において自身の行動を改めることを期待していたが、その都度注意していただきたいとの弁を繰り返すなど、改善の気配は微塵も感じられない。

これらのことは南陽市議会の品位を著しく傷つけ、議会の秩序を乱す行為であり、これ以上看過することはできない。

よって、ここに高岡亮一議員に対し、今回の件について猛省を促すとともにその責任を強く問うものである。また、今後議員としての発言の重さ、その職責を深く認識し、高い倫理観と慎重な行動を強く求めるものである。

以上、決議する。

令和4年3月17日

南陽市議会	提出者	山口正雄	賛成者	伊藤英司	賛成者	船山利美
	賛成者	遠藤榮吉	賛成者	佐藤憲一	賛成者	梅川信治
	賛成者	片平志朗	賛成者	山口裕昭	賛成者	川合猛
	賛成者	高橋弘	賛成者	島津善衛門	賛成者	板垣致江子
	賛成者	殿岡和郎	賛成者	高橋一郎	賛成者	佐藤明

※ 議長は裁決に加わらない



中川 遠藤 長之さん(53歳)

中川公民館長代理として、精力的に地元の歴史発掘紹介に努める遠藤長之さんにお聞きしました。

■公民館長代理になる前は

自動車販売会社に27年勤務しました。公民館代理になって8年になります。

■地元の歴史との関わりは

20年ぐらい前から岩部山三十三観音の整備保存に関わり、草刈りや急傾斜地への階段設置等の事業を行っています。

ます。

公民館に勤めるようになってから、公民館だよりの裏面を利用して中川の歴史を書くようになりました。その他「岩部山三十三観音御詠歌の旅」や、明治天皇御休止の場所の碑など中川地区に遺る記念碑について冊子にしています。

また、ホームページの「中川公民館日記」は毎日できるだけ更新を心掛けています。

■中川というと、水心子正秀(すいしんしまさひで)や吉田熊次といった偉人も出ています。

水心子正秀には、今年の1月に山形新聞「ふるさとの文化財」で紹介されており、日本刀の伝統が今に伝わるのは正秀の業績とい

われています。

吉田熊次は、長井の方が来訪し熊次の実家等を調べて、「山形県からの上京遊学の成功者」として『阿部次郎』という本に紹介されました。

■コロナ禍の影響は

イベント等の中止で内部的に時間の余裕ができた分、外部の環境整備に力を入れることができています。

■今後やりたいことは

地区の名所「岩部山」について、環境整備を進め、もっと多くの方に来ていただけるようにしていきたい。



表紙写真

岩部山三十三観音(十一面観音)

市指定史跡である「岩部山三十三観音」は、江戸時代の後期、文政・天保の頃、川樋村松林寺住職の「金毛和尚(きんもうおしょう)」が、石工に頼んで三年を費やして岩に彫刻させた。

当時の東北地方は宝暦

の飢饉・天明の飢饉など、天災による飢饉が続き悲惨な状況で、そのような苦しい世相を見かねた金毛和尚は諸国行脚、特に西国三十三観音を三度も詣で仏の慈悲救済を願って経塚を築いた。

しかし、天保年間に入り飢饉は収まらず、特に天保四年(1833)の大飢饉に及んで金毛和尚は観音様にすがるより他なしと決断し、信仰熱心な村民等の協力を得て三十三観音を岩部山の岩に刻ませた。

岩部山から南側の川樋北部一帯にかけて散在する奇岩名岩三十三ヶ所彫り込まれた千手観音、如意輪観音、聖観音などのお姿は、穏やかな顔容のうちに慈悲の相に満ちている。



金毛和尚

編集後記

党派・会派・考えが違いう6人で「いい議会だよりをつくるう」の思いで取組んできましたが今回で最後です。

市内8地区を巡る表紙シリーズ企画は、それぞれが思いのこもった企画でした。改めて南陽の良さを見直す事ができました。

苦難の時代が待ち構えています。この土地に生きるこのありがたさを思いつつ、乗り切りたいものです。

2年間、ご愛読ありがとうございました。

(高岡亮一)

- 委員長 島津善衛門
- 副委員長 山口 正雄
- 委員 伊藤 英司
- 委員 佐藤 憲一
- 委員 山口 裕昭
- 委員 高岡 亮一

